

文藝



MCMXLVIII

2

昭和二十年四月二十日第三種郵便物認可 (毎月一回一日発行)
昭和二十三年一月二十日印刷納本 昭和二十三年二月一日發行

第五卷 第二號

河出書房

昭和二十三年 二月號

疲労恢復と栄養補給に

“ヤシマ”

強ビタミンB₁錠

18名 強力アクトミン錠

日本薬局方

製造発売元 八洲化学株式会社
東京都千代田区神田鍛冶町三丁目

Everest

最高峰

エベレスト鉛筆

TOKYO E.F.P. CO. LTD.



感冒 肺炎、扁桃腺炎に

オムニ
コメット

注
を御用意下さい

東京・大阪
黒田製薬株式会社

マルクスか死か

田中克巳

「おれはもう結論に達した！」

マルクスか死か」

山國にゐるおまへからこの便りをもらつて以來
ぼくは毎日考へつゞけてゐる

二年以上まへ二人で酒をのみ

陶然とぼくが酔つて寝てゐるあひだ

おまへは城壁の上を歩きまはつてゐたが

突然とび下りて負傷した

かつぎこまれたおまへをぼくが看護すると

おまへは云つた「おれはもうめんどろくさくなつたん

だ！」

おまへはまためんどろくさくなつたのぢやないか

マルクスは冷い論理と計算とで

新しい社會を設定した

めんどろくさがりのおまへやぼくが

この計算に従ひ得るか

あたり近所の三太郎や李助どもは？

一度ゆつくり話しあひたい

議論からは何も出て來ないのは明白だが

月が明るく燈が消えた今夜あたり

おまへを想つてぼくは眠れないのだ。

出版だより

＊河出書房一月—二月の刊行書の中、文化關係のものをひろつて御紹介いたしますと—。
＊ボールドレル全集(二三冊)は第一回「ロマン派藝術論上」につづいて渡邊一夫氏譯「人工樂園」が配本されます。スタンダール全集は「赤と黒」第三分冊に二月末の第四分冊でまともります。ドストエフスキ全集は「未成年」作家の日記4」が一月より二月にかけて配本。—紙の事情で、とかく分冊の煩をさげがたいのですが、今年度より漸次この問題も解決されるのであります。
＊単行としては、山田樹氏「スタンダール研究」島本赤彦全集「上下、川田熊太郎氏「哲學小論集」芳賀幸四郎氏「近世文化の形成と傳統」等があります。＊シリズで「社會主義經濟學」一一巻、「日本資本主義研究講座」四八冊、「音楽文庫」二五冊、新しき教育のための「教育文庫」二五冊がありますが、御問合下されば目録を差上げます。

雑誌部より

☆「評論」二月號は、有澤廣巳氏、大河内一男氏、相原茂氏、對馬忠行氏、高橋誠一郎氏等の雄辯論稿の外、「木戸日記をめぐる座談會」を敢行して、軍閥と封建貴族によつて汚された昭和政治史を完膚なく剔抉して帝國主義日本の本體を衝いた。色色な意味で問題視されることと信じてゐる。(二月號は二月上旬發賣豫定)
☆「唯物史觀」第一號は果して好評である。大内・向坂兩氏責任編集になる本誌は最高の進歩的學術雜誌として愈々その眞價を發揮する筈である。
(第一號は目下發賣中、定額六五) (第二號は三月上旬發賣豫定)
☆ 清新な編集意圖を以て新しく誕生した季刊「EMINA」(フエミナ)は、新時代を拓く獨自な女性文化誌として頗る好評、只今は第二號發賣中(定額八十圓)、第三號は三月發行。
☆ 農業技術指導誌として、獨自の風格を高く評價されてゐる「新農藝」は、二月號には愈々全誌面に科學性と文化性とを漲らせて進歩的農村讀者と直結してゐる。中旬發賣。

編集者の言葉

☆ 座談會「現代作家研究」は當分連載する豫定である。次號以下に「正宗白鳥」(青野季吉、河上徹太郎、荒正人、寺田透諸氏)「谷崎潤一郎」(辰野隆、伊藤整、平野謙、武田泰淳諸氏)等を豫定してゐるが、なほ、中堅、新進の諸家も取上げられねばならないと思ふ。
☆ 匿名欄「れびぞおる」は今度から筆者に署名していただくことにした。
☆ 「批評」と「近代文學」の會の席上、誰であつたか、批評家は作品評ばかりして作家におぶさつてゐないで、創造的な批評をせよといふ意見を述べた人があつた。正にその通りである。しかし又、私は作品評もゆるがせに出来ないと思ふものである。わかり切つた事のやうであるが、批評家は同時に優れた鑑賞家でもなければならぬ。イデオロギ一の抽出や論理の展開に巧みな批評が、時として作品の藝術的完成を問題にしないことがある

文藝

二月號 定價二十五圓
昭和二十三年二月二十五日印刷
昭和二十三年二月一日發行
東京都千代田區神田小川町三ノ八
編集人 杉 森 久 英
發行人 藪 下 茂
東京都新宿區市谷加賀町一ノ二印刷所 大日本印刷株式會社 (東京)
東京都千代田區神田渡路町二ノ九 配給元 日本出版配給株式會社
東京都千代田區神田小川町三ノ八 發行所 河 出 書 房
振替東京一〇八〇二番 電話神田(25)二三三五一番

葉山嘉樹全集

第三回配本

短篇小説集 淫賣婦
B6上製三九〇頁 價二二〇圓送一〇〇圓
第一期 移動する村落 價九〇圓
第一期 誰が殺したか 價九〇圓
第一期 (2)海に生くる人人 價二二〇圓

東京都千代田區神田一ツ橋 小學館

堀辰雄作 花を持てる女
品集第六
石川 淳 處女懷胎
萩原朔太郎 虛妄の正義
風卷景次郎 文學の發生
ネルツアル 火の娘
中村眞一郎譯

東京千代田區代官町二 角川書店

迷路

青春期の自画像
中山 義秀 價七五圓
隨筆 竹
佐藤 春夫 價八〇圓
森田 たま 價八〇圓
或る日の老画家
武者小路實篤 價七〇圓

東京都中央區日本橋茅場町一の十二 共立書房

藝術運動

最新刊
蔵原惟人著
プロレタリア文化運動の理論的指導者蔵原氏の集め、かつて發表された歴史的貴重な文獻の好著。全日本の文化人に再讀を要請される好著。
清野謙次著
日本歴史のあけぼの
B6判二七〇頁 價六〇圓送一〇〇圓
B6判二七〇頁 價六〇圓送一〇〇圓

東京中央區銀座四ノ四 潮流社

ゲーテの戀愛文學を代表する名作 高橋健二譯 A6判美裝挿繪入
若きヴェルテルの悩み 價六〇圓
ヘルマンとドロテア 價四〇圓
ゲーテ戀愛詩集 價八〇圓
ゲーテが愛する女性をたゞえた詩、戀する女性にさよがれた詩を集め、女性ことに排列した詩集で、ゲーテの多彩な戀愛生活の神秘の扉をひらくかぎを藏している。

東京都文京區 森川町八〇 郁文堂書店

現代の考察

清水幾太郎 二流の人
坂口安吾 愛の技術
オイディウス 文學評傳
コルリッヂ 大陽の下に
桂田利吉譯
モイパッサン 江口 清譯

東京都千代田區代官町二番地 思索社